



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月6日

上場取引所 東

上場会社名 ノーリツ鋼機株式会社

コード番号 7744 URL <http://www.noritsu.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 西本 博嗣

問合せ先責任者 (役職名) IR・PR・ER室長 (氏名) 谷口 博則

TEL 073-406-5678

四半期報告書提出予定日 平成25年11月11日

配当支払開始予定日

平成25年12月4日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	26,003	174.8	1,067	—	978	—	389	410.8
25年3月期第2四半期	9,461	△0.2	△129	—	△285	—	76	—

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 1,561百万円 (—%) 25年3月期第2四半期 △275百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	10.93	—
25年3月期第2四半期	2.14	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	90,744	—	59,740	—	—	64.2
25年3月期	80,849	—	56,896	—	—	70.4

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 58,224百万円 25年3月期 56,884百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	円 銭	
25年3月期	—	3.00	—	4.00	円 銭	7.00
26年3月期	—	4.00	—	—	円 銭	—
26年3月期(予想)	—	—	—	4.00	円 銭	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	55,000	100.9	2,750	346.3	2,100	120.4	1,100	163.7	30.89

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 1社 (社名) 株式会社 秋田ケーブルテレビ 、 除外 1社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	36,190,872 株	25年3月期	36,190,872 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	576,847 株	25年3月期	576,847 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	35,614,025 株	25年3月期2Q	35,614,086 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビューを実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関連する事項については、添付資料の4ページを参照してください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	12
(セグメント情報等)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループの当第2四半期連結累計期間の業績結果においては、前連結会計年度よりいきいき株式会社及び株式会社全国通販によるシニア向けの出版・通信販売等の事業が加わったこと、並びに第1四半期連結会計期間より株式会社日本医療データセンター、フィード株式会社及び株式会社アイメディックにおける医療事業が加わったことが寄与し、売上高は260億3百万円（前年同期比174.8%増）となりました。

また、利益面につきましては、主として上述のシニア・ライフ事業、医療事業がグループ全体を牽引し、営業利益は10億67百万円（前年同期は営業損失1億29百万円）となりました。

経常利益につきましては、前年同期と比べ為替差損が減少したことなどにより、9億78百万円（前年同期は経常損失2億85百万円）となりました。

また、特別損益項目においては、海外における構造改革費用などを損失計上しましたが、前年同期と比べ増益となり四半期純利益は3億89百万円（前年同期比410.8%増）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

なお、各セグメント別の売上高は外部顧客への売上高を記載しており、またセグメント損益(営業損益)は各セグメント間取引の調整額を加算したものであります。

① イメージング

写真処理機器においては、北米でのサービスの販売拡大、為替環境の好転により、売上高は73億32百万円と前年同期と比べ9億99百万円（15.8%増）の増収となりました。

セグメント利益（営業利益）は、為替による増収効果もあり1億66百万円（前年同期は営業損失91百万円）と前年同期と比べ2億58百万円の増益となりました。

② 環境

環境ソリューションブランド「Re:ray（リレー）」を新機軸にLEDライティングなどの販売活動に注力しましたが、全体の販売数量は前年同期を下回り売上高は8億90百万円と前年同期と比べ4億20百万円（32.1%減）の減収となりました。

セグメント損失（営業損失）は、前年同期と比べ収益構造を改善し、36百万円（前年同期は営業損失83百万円）となりました。

③ 食

昨年末より販売を開始した水循環式電気フライヤー等の販売が好調に推移した結果、売上高は2億50百万円と前年同期と比べ2億19百万円（706.9%増）の増収となりました。

しかしながら、セグメント損失（営業損失）は、販売体制強化のための人員の補強などにより販管費が増加し31百万円（前年同期は営業損失12百万円）と前年同期と比べ19百万円の減益となりました。

④ 医療

平成25年5月にレセプトデータの分析・調査データの提供を手掛ける株式会社日本医療データセンター、歯科及びその他医療機関に対する歯科材料・医療材料の通信販売を行うフィード株式会社、整形外科領域におけるインプラント器具の製造・販売を行う株式会社アイメディックなどが当社グループに加わったことにより事業領域が拡大しました。その結果、売上高は53億99百万円と前年同期と比べ45億31百万円（522.0%増）の増収となりました。

上述の事業領域の拡大に伴い、セグメント利益（営業利益）は3億5百万円（前年同期は営業損失23百万円）と前年同期と比べ3億29百万円の増益となりました。

⑤ シニア・ライフ

平成24年9月にM&Aによるシニア向け出版・通信販売等を手掛けるいきいき株式会社、また平成24年12月に株式会社全国通販が当社グループに加わったことにより、事業領域が拡大しました。その結果、売上高は118億78百万円と前年同期と比べ111億71百万円（1580.8%増）の増収となりました。

上述の事業領域の拡大に伴い、セグメント利益（営業利益）は4億71百万円（前年同期は営業損失5百万円）と前年同期と比べ4億77百万円の増益となりました。

⑥ その他

その他の事業におきましては、売上高が2億51百万円、セグメント利益（営業利益）が1億90百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は907億44百万円となり、主に子会社取得により前連結会計年度末と比較して98億95百万円増加しました。

流動資産は、48億23百万円の増加となりました。これは主に現金及び預金が48億72百万円、受取手形及び売掛金が10億50百万円、商品及び製品が13億37百万円増加し、償還等により有価証券が26億57百万円減少したことによるものです。

固定資産は、50億72百万円の増加となりました。これは有形固定資産が19億76百万円、のれんの計上額が15億88百万円増加したことによるものです。

負債は、70億50百万円の増加となりました。これは長期借入金が31億10百万円、短期借入金15億円、支払手形及び買掛金が4億87百万円増加したことによるものです。

純資産は、28億44百万円の増加となりました。これは主に四半期純利益3億89百万円の計上と配当実施の結果、利益剰余金が2億46百万円増加したこと、為替換算調整勘定が10億7百万円増加したこと及び少数株主持分が14億95百万円増加したことによるものです。

(キャッシュ・フローの状況の分析)

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ46億2百万円増加し281億79百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間に係る区分ごとのキャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは11億75百万円の資金の増加となりました。資金の増加の主な要因は、税金等調整前四半期純利益9億98百万円、減価償却費8億31百万円、売上債権の減少による増加7億70百万円、のれん償却額4億10百万円となっております。資金の減少の主な要因は、法人税等の支払額7億7百万円、負ののれん発生益の計上6億93百万円となっております。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは9億88百万円の資金の減少となりました。資金の減少の主な要因は、子会社株式の取得による支出21億48百万円、貸付けによる支出6億42百万円、投資有価証券の取得による支出2億50百万円、有形固定資産の取得による支出2億32百万円となっております。資金の増加の主な要因は、有価証券の償還による収入25億87百万円となっております。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは39億74百万円の資金の増加となっております。資金の増加の主な要因は、主に子会社株式の取得に伴う資金調達の結果、短期借入れによる収入が70億円、長期借入れによる収入が40億円となっております。資金の減少の主な要因は、主にブリッジローン実施に伴う短期借入金の返済による支出が59億45百万円、長期借入金の返済による支出が7億59百万円、配当金の支払による支出が2億円となっております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成25年5月17日公表の「平成25年3月期決算短信」に記載のとおりであり、業績予想は修正しておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第1四半期会計期間より、株式会社秋田ケーブルテレビを連結の範囲に含めております。

なお、当該異動は、株式取得に伴って子会社となった会社の資本金の額が当社の資本金の額100分の10以上に相当するため、特定子会社に該当いたします。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,575	23,448
受取手形及び売掛金	4,942	5,993
有価証券	8,190	5,532
商品及び製品	6,521	7,858
仕掛品	304	260
原材料及び貯蔵品	193	203
繰延税金資産	538	738
その他	4,177	4,436
貸倒引当金	△1,631	△1,836
流動資産合計	41,811	46,635
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	29,004	32,742
機械装置及び運搬具	7,352	9,657
土地	12,168	12,206
建設仮勘定	12	5
その他	13,275	13,675
減価償却累計額	△41,660	△46,157
有形固定資産合計	20,152	22,129
無形固定資産		
のれん	12,433	14,022
その他	526	926
無形固定資産合計	12,960	14,948
投資その他の資産		
投資有価証券	3,110	3,101
長期貸付金	528	1,640
繰延税金資産	613	706
その他	2,269	2,932
貸倒引当金	△596	△1,349
投資その他の資産合計	5,924	7,031
固定資産合計	39,037	44,109
資産合計	80,849	90,744

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,149	3,637
短期借入金	500	2,000
1年内返済予定の長期借入金	1,006	1,564
未払法人税等	393	472
繰延税金負債	0	0
賞与引当金	303	417
債務保証損失引当金	41	43
製品保証引当金	247	361
ポイント引当金	252	242
その他	4,357	4,843
流動負債合計	10,253	13,583
固定負債		
長期借入金	12,933	16,043
繰延税金負債	166	230
退職給付引当金	32	113
その他	567	1,033
固定負債合計	13,700	17,420
負債合計	23,953	31,004
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,025	7,025
資本剰余金	17,913	17,913
利益剰余金	37,499	37,745
自己株式	△1,211	△1,211
株主資本合計	61,226	61,473
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△2	83
為替換算調整勘定	△4,339	△3,332
その他の包括利益累計額合計	△4,342	△3,248
新株予約権	10	19
少数株主持分	1	1,496
純資産合計	56,896	59,740
負債純資産合計	80,849	90,744

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	9,461	26,003
売上原価	4,848	12,395
売上総利益	4,613	13,607
販売費及び一般管理費	4,742	12,540
営業利益又は営業損失(△)	△129	1,067
営業外収益		
受取利息	179	165
受取配当金	24	21
持分法による投資利益	—	10
その他	65	118
営業外収益合計	268	316
営業外費用		
支払利息	49	139
為替差損	183	84
持分法による投資損失	150	—
付加価値税還付不能額	—	83
その他	41	97
営業外費用合計	424	404
経常利益又は経常損失(△)	△285	978
特別利益		
固定資産売却益	2	4
投資有価証券売却益	71	—
負ののれん発生益	—	693
特別利益合計	73	697
特別損失		
固定資産除売却損	3	26
貸倒引当金繰入額	—	283
投資有価証券売却損	—	46
投資有価証券評価損	20	0
製品保証費用	—	110
構造改革費用	—	211
特別損失合計	23	678
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△235	998
法人税等	△311	530
少数株主損益調整前四半期純利益	76	468
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△0	79
四半期純利益	76	389

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	76	468
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△311	85
為替換算調整勘定	△28	1,001
持分法適用会社に対する持分相当額	△11	5
その他の包括利益合計	△351	1,093
四半期包括利益	△275	1,561
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△275	1,482
少数株主に係る四半期包括利益	△0	79

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△235	998
減価償却費	391	831
のれん償却額	137	410
負ののれん発生益	—	△693
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△34	220
賞与引当金の増減額(△は減少)	34	△12
債務保証損失引当金の増減額(△は減少)	△16	△1
製品保証引当金の増減額(△は減少)	△30	109
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△38	△16
受取利息及び受取配当金	△203	△187
支払利息	49	139
為替差損益(△は益)	95	74
投資有価証券評価損益(△は益)	20	0
持分法による投資損益(△は益)	153	△10
有形固定資産除売却損益(△は益)	0	22
投資有価証券売却損益(△は益)	—	46
売上債権の増減額(△は増加)	△237	770
たな卸資産の増減額(△は増加)	371	△99
仕入債務の増減額(△は減少)	△970	11
構造改革に伴う未払金の増減額(△は減少)	14	33
前受収益の増減額(△は減少)	△50	△25
その他	1,438	△746
小計	891	1,876
利息及び配当金の受取額	216	158
利息の支払額	△40	△151
法人税等の支払額	△130	△707
営業活動によるキャッシュ・フロー	937	1,175
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△2,655	—
有価証券の売却による収入	1,161	—
有価証券の償還による収入	2,062	2,587
有形固定資産の取得による支出	△203	△232
有形固定資産の売却による収入	154	9
投資有価証券の取得による支出	△399	△250
投資有価証券の売却による収入	77	177
投資有価証券の償還による収入	32	0
貸付けによる支出	△197	△642
貸付金の回収による収入	408	37
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△7,235	△2,148
その他	1	△526
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,791	△988

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	5,000	7,000
短期借入金の返済による支出	△2,411	△5,945
長期借入れによる収入	—	4,000
長期借入金の返済による支出	△83	△759
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△31	△129
配当金の支払額	△106	△200
新株予約権の発行による収入	—	9
自己株式の取得による支出	0	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,367	3,974
現金及び現金同等物に係る換算差額	△90	442
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△3,577	4,602
現金及び現金同等物の期首残高	19,420	23,576
現金及び現金同等物の四半期末残高	15,842	28,179

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント							調整額 (注)	四半期 連結損益 計算書 計上額
	イメー ジング	環境	食	医療	シニア ・ライフ	その他	計		
売上高									
外部顧客への売上高	6,333	1,311	30	868	706	211	9,461	—	9,461
セグメント間の内部 売上高又は振替高	△0	—	—	—	—	0	△0	0	—
計	6,333	1,311	30	868	706	211	9,461	0	9,461
セグメント利益又は損失(△)	△91	△83	△12	△23	△5	85	△131	1	△129

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額1百万円には、セグメント間取引消去1百万円が含まれております。

2 当社はセグメント利益を算定するにあたり、事業セグメントに直接配賦できない販売費及び一般管理費をその発生により便益を受ける程度に応じ、合理的な基準によって関連する報告セグメントに配賦しております。配賦した販売費及び一般管理費の合計は1,630百万円であり、各報告セグメントへの配賦金額は以下のとおりであります。

(単位：百万円)

	イメー ジング	環境	食	医療	シニア ・ライフ	その他	計
全社費用配賦前の セグメント利益又は損失(△)	1,208	41	12	40	28	166	1,498
全社費用	1,300	125	25	63	34	81	1,630
セグメント利益又は損失(△)	△91	△83	△12	△23	△5	85	△131

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント							調整額 (注)	四半期 連結損益 計算書 計上額
	イメ ージ ング	環 境	食	医 療	シ ニア ・ ラ イ フ	そ の 他	計		
売上高									
外部顧客への売上高	7,332	890	250	5,399	11,878	251	26,003	—	26,003
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	7,332	890	250	5,399	11,878	251	26,003	—	26,003
セグメント利益又は損失(△)	166	△36	△31	305	471	190	1,065	1	1,067

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額1百万円には、セグメント間取引消去1百万円が含まれております。

2 当社はセグメント利益を算定するにあたり、事業セグメントに直接配賦できない販売費及び一般管理費をその発生により便益を受ける程度に応じ、合理的な基準によって関連する報告セグメントに配賦しております。配賦した販売費及び一般管理費の合計は1,599百万円であり、各報告セグメントへの配賦金額は以下のとおりであります。

(単位:百万円)

	イメ ージ ング	環 境	食	医 療	シ ニア ・ ラ イ フ	そ の 他	計
全社費用配賦前の セグメント利益又は損失(△)	1,238	18	40	419	735	212	2,664
全社費用	1,071	55	72	113	264	22	1,599
セグメント利益又は損失(△)	166	△36	△31	305	471	190	1,065

2 報告セグメントごとの資産に関する情報

(子会社の取得による資産の著しい増加)

第1四半期連結会計期間において、株式会社日本医療データセンター、フィード株式会社、株式会社アイメディック及び株式会社秋田ケーブルテレビの株式を取得し、連結の範囲に含めております。

これに伴い、前連結会計年度の末日に比べ、「医療」のセグメント資産が71億20百万円、「シニア・ライフ」のセグメント資産が38億28百万円増加しております。

3 報告セグメントの変更等に関する事項

いきいき株式会社等が連結子会社となったことに伴い、前第3四半期連結会計期間より事業セグメントの区分を見直し、報告セグメントを従来の所在地別から「イメージング」「環境」「食」「医療」「シニア・ライフ」「その他」の業種別に変更しております。

なお、当第2四半期連結累計期間の比較情報として開示した前第2四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の報告セグメントにより作成しており、前連結会計年度の第2四半期連結累計期間に開示した報告セグメントとの間に相違が見られます。